

⑫

来迎寺幼稚園

1955～1993(S30～H5)

開基は鎌倉時代初期、源頼朝によるもので、当初は真言宗、義明山能蔵寺と称した。室町時代初期に時宗に改宗、来迎寺と改称した。建立は建久5(1335)年、本尊は弥陀三尊仏である。元弘の乱で、三浦義明像衣冠座像が焼失した。今も義明の菩提所として今も鎌倉に関わっている名刹である。

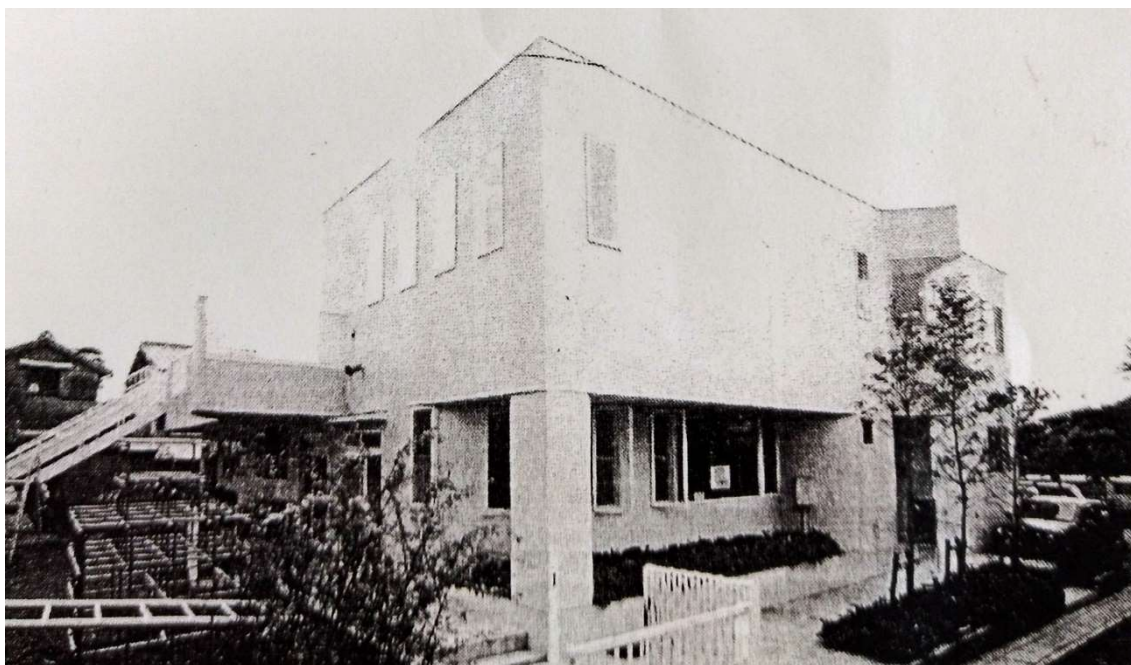
来迎寺幼稚園の跡地は駐車場になっている。お寺にはもう幼稚園の資料は何も残っていないとのこと、昔のお話もお聞きできなかった。

大町で今は閉店した樋口質屋の次男が卒園生とのことで、お話を聞いた。現在80歳代の母は当時、嫁としての立場が忙しくて、送り迎えは夫がやったので園の様子はよくわからないのだという。丙午生まれ(1961年)の兄が比企谷幼稚園に通っていたので弟も同じ園に楽に入れると思い、のんびりしていたら入園できなくなって、姑にこっぴどく怒られたそうだ。それで下の

子は来迎寺幼稚園に通うことになった。

大町4丁目の旧姓二宮優子は、母が材木座3丁目にあった高橋米店に勤めていたので、送り迎えに便利な来迎寺幼稚園を選んだ。優子は園の花祭りで甘茶をかけたことを覚えているという。

同じ時期に幼稚園を開こうとしていた、鎌倉いずみ幼稚園初代園長の高田章は、1955年1月12日の日記に「県庁学事課に行き、…来迎寺幼稚園の申請と、その反対陳情の出ていることを知る」と書いている(鎌倉いずみ幼稚園 25 周年誌)。



在りし日の園舎 (『鎌倉私立幼稚園協会三十周年史』より)